

記載例

作成者及び作成年月日を記載してください。
その後、一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、その履歴(年月日及び加筆又は修正者)を記載してください。

事件番号、係名及び当事者名を記載してください。

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇号 民事第22部〇係
原告〇〇〇〇／被告〇〇〇〇
平成〇〇年〇月〇日原告作成
平成〇〇年〇月〇日被告記入
平成〇〇年〇月〇日原告修正

被害リスト

| No | 被害箇所 | 発見時期 | 原告 | | | | | | 被告 | | | | | |
|----|----------------|-----------|---------------------------------------|----------|--------------------------|--------------|--|----------|---------|---|-----|----------------------------|---------|--------|
| | | | 工事前の状況 | | 工事後の被害状況 | | 損害 | | 工事前後の状況 | | 損害 | | | |
| | | | 主張 | 証拠 | 主張 | 証拠 | 補修方法 | 補修費用 | 証拠 | 主張 | 証拠 | 補修方法 | 補修費用 | 証拠 |
| 1 | 1階リビング東面壁南側窓左下 | 〇〇年〇〇月〇〇日 | クラックは存在しなかった。被告の指摘するクラックは、別の箇所のものである。 | 甲6・写真3~5 | 幅最大2mm、長さ65mmのクラックが発生した。 | 甲2・写真1~3、甲47 | クラックにシーリングを充填した上で、クロスを貼り直す。 | ¥80,000 | 甲12・3頁 | 現在クラックが存在することは認めるが、本件工事以前から存在した。原告の提出する工事前の写真は不鮮明であり、クラックが存在するかどうか判別できない。 | 乙23 | 補修の必要はない。 | ¥0 | |
| 2 | 3階寝室東面壁 | 〇〇年〇〇月〇〇日 | 経年による多少の汚れはあったものの、塗装材による汚れは存在しなかった。 | 甲27 | 壁面の広範囲にわたり、塗装材が付着している。 | 甲2・写真4~8 | 東面全面について、壁面塗装をやり直す。付着箇所のみ塗装では、他の部分と色の違いが出てしまい、相当でない。 | ¥650,000 | 甲12・4頁 | 被告の施工に起因して塗装材が飛散し、原告宅の壁面に付着したことは認める。 | | 補修としては、付着箇所のみ塗装をし直せば十分である。 | ¥75,000 | 乙15・2頁 |
| 合計 | | | | | | | | ¥730,000 | | | | | ¥75,000 | |

一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、アンダーラインを付し、又は文字に色を付けること等により、

被害の発生機序について実質的に争いがあるときは、準備書面において具体的に主張してください。